

男女の賃金差異に関する実績

対象期間: 2025年4月1日 ~ 2026年3月31日

全労働者	75.0%
うち正規雇用労働者	78.3%
うち非正規雇用労働者	57.8%

(注釈・説明)

●正社員の勤続年数は、男性15年に対し女性6.6年と短く賃金への影響が大きい。当社ではより長く勤続できるよう2022年10月より育児介護特別勤務の適用期間を拡大するなどの対策を講じている。

●非正規(臨時従業員)の差異は、主に男性は技術職が多く女性は間接業務が多いことによる職種的な要因と女性の短時間勤務者が多いことが男女の賃金の差異に影響していると考えられる。

女性の活躍推進企業データベース URL

<https://positive-ryouritsu.mhlw.go.jp/positivedb/detail?id=1494>